

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	012028	事務事業名	シティプロモーション事業費			
担当部・課名	広報戦略課	評価者(課長)	行富 広康	評価責任者(部長)	増本 俊彦	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900204	分野	9行政経営	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2将来を見据えた行政経営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)その他			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	女性・子どもを主とした周南市民及び市外の本市出身者。	事業の目的(意図)	シティプロモーション活動を通じて、市の認知度向上とシビックプライドの醸成を図り、本市の活性化につなげ持続可能なまちづくりに寄与する。
事業の内容(手段)	周南市シティプロモーション基本方針に基づき、主に市民をはじめ企業・団体など市の関係者を対象とした取り組みや、庁内関係各課と連携した取り組み、また各種メディアを活用した事業展開を図る。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
市公式SNS(フェイスブック・ツイッター)及び特設サイト訪問者の合計数字		市公式フェイスブック(いいね)とツイッター(フォロワー)、特設サイト(セッション)の合計数字を基準とし、前年度の増加数を毎年の目標数字とする。	件	目標値	-	2,309	8,380
				実績値	-	5,170	
				達成度(%)	-	223.9%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	-	5,500	25,301	16,958
うち一財		千円	-	5,500	25,001	16,828	16,958
(決算額)	直接事業費	千円	-	4,956		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	-	4,956		委託料(前年比-12,494千円)の見直しによる	
正職員人件費	千円	-	15,900				
人工数	人	-	2.17	1.52			
	支出コスト	千円	-	決) 20,856			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成28年4月より市の愛称を活用したプロモーション活動を開始。周南市シティプロモーション基本方針やPRマニュアルを平成28年度中に作成。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 シティプロモーション活動を通じ認知度向上と、シビックプライドを育てていくためには、一人でも多くの市民が継続して参加できる、様々な施策や事業を展開していく必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	本市の認知度向上とシビックプライドの醸成を目指し、ホームページやケーブルテレビ等での情報発信、SNSやインターネットなど様々なメディアを活用したプロモーション事業等を展開。市民参加型イベントの展開。	評価責任者コメント	市としては初めて取り組む事業であり、またすぐに成果が出るものでもなく、継続することが大変重要な事業である。関係各課と連携を図りながら、また最新のコミュニケーション技術等を研究しながら、より効果的なプロモーション活動を実施していく必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
平成30年度は職員が国内各地の自治体を訪問し、本市のPR活動を行う取り組みを実施する。また、引き続き市民力を生かした取り組みを行うとともに、特設サイトをはじめとした市をPRするコンテンツの拡充を図り、各種メディアを活用した戦略的な情報発信を行う。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	シティプロモーション推進業務	周南市シティプロモーション基本方針に基づきながら、戦略的なシティプロモーション事業を推進する。	各種メディアへの広告、他課との協力、市民参加企画、特設サイトの更新、PR動画の企画・制作。パートナーズ・サポーターズの募集。	25,301		1.00	
				可			
②	SNS活用研究業務	情報ツールの一つとして活用が広がっている各種のSNSについて、有効に活用していく。	市公式フェイスブック・ツイッターを使用した戦略的な配信。	0		0.12	
				否			
③	PR動画等の検討・制作業務	動画の利活用を、本市の魅力等を発信する手法として検討し、制作にあたっては市民と協力して実施する。	動画のテーマや対象についての協議・検討。	0		0.40	
				可			
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	012009	事務事業名	広報事業費			
担当部・課名	広報戦略課	評価者 (課長)	行富 広康	評価責任者 (部長)	増本 俊彦	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	900102	分野	9行政経営	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	1市政に参画できる仕組みの充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)広聴活動の拡充			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民	事業の目的 (意図)	行事や手続きなどの市民生活に必要な情報を届ける。また、市の施策について市民理解を深め、市民協働のまちづくりを推進する。 (ホームページアクセス件数H29目標2,500件/日)
事業の内容 (手段)	広報紙やケーブルテレビ、ホームページ、ソーシャルネットワークサービスなどを活用し、積極的に市政情報を発信する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
市ホームページへのアクセス 件数	達成項目/目標項目		%		2,500.0	2,500.0	2,500.0
					2,414.0	2,439.0	
					96.6%	97.6%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
			直接事業費	千円	55,285	54,071	65,522
(予算額)	うち一財	千円	51,138	49,471	61,206	47,646	47,646
(決算額)	直接事業費	千円	53,591	53,002		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	48,919	48,402			
	正職員人件費	千円	22,215	17,218		H29年度ホームページ改修委託料(12,680千円)の計上による	
	人工数	人	3.00	2.35	2.68		
	支出コスト	千円	決) 75,806	決) 70,220			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	広報紙の編集発行事業は、平成21年度から部分的な取材・編集とデザイン・印刷・仕分け業務を民間に委託しており、平成27年度に3回目の契約更新を行った。また平成27年度には、ホームページ音声読み上げサービスを導入。平成25年7月にはSNS(Facebook, Twitter)を開設している。	課題・問題点	□ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 近年、SNSをはじめ情報発信手段が多様化している。市民に必要な情報を周知するには、受け手に応じて有効な情報発信ツールを選択、活用し有効に伝えていく必要がある。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	平成29年度中にホームページのリニューアルを行い、現行管理システムの更新を行う。	評価責任者コメント	広報紙は、取り上げる人物などに配慮し、幅広く見てもらう工夫をしており、またレイアウト等も読みやすい構成に努めていることから、引き続き取り組みを進めていくが、ホームページやSNSを通じた情報発信については、掲載内容などの見直しを図り、より多くの方に利用してもらえるよう工夫していく必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
広報紙編集発行事業は10月より紙面デザイン、印刷・仕分け、広告募集を分割し入札を実施する。企画・取材部門は広報戦略課職員が行い、市の施策に関する特集記事を年数回掲載するなど内容の充実を図りながら、親しみやすい紙面づくりを行う。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	市広報編集発行事業	広報紙を発行し、手続きや行事などの周知を図る。インターネット連動の新機能で広報紙の機能アップを図る。	年間24回広報紙を発行。取材指示、各所管からの原稿取りまとめ、校正。自治会等配布先名簿の管理。インターネットに連動した拡張機能の搭載。	42,802 可	1.30		
②	広聴事業	市民から寄せられる意見や提案などを聞き、市政運営への参考とする。	電話・メール・手紙などで寄せられる市民の意見等を関係各課へ通知し、本人への回答を各課から行う。	0 否	0.15		
③	市政情報提供事業	報道機関への情報提供により、様々な事業の周知への一助とする。	各課・外部からの報道機関向け資料の受付。必要に応じてFAXにて情報送信。	0 否	0.05		
④	広報紙面リニューアルの検討業務	市政情報がより身近に、分かりやすく伝わる紙面となるようリニューアルを行い、市政運営に関心を持ってもらう。	さまざまな事例を参考にしながら、レイアウトや掲載内容等の検討を行う。	0 可	0.40		
⑤	市政情報だより(CATV)の制作業務	市民に関心を持っていただきたいことについて、映像で理解しやすく説明・紹介する。	年間12本の市政情報番組(20分)を制作し、地元ケーブルテレビで放映。トピックス等の選定、本編について所管課との調整。	6,357 可	0.15		
⑥	ホームページ運用管理業務	市の事業の詳細な内容を掲載し、各事業をわかりやすく説明する。アクセシビリティに配慮したサイトとする。	各課の更新内容の承認。トップページの改善。アクセシビリティ基準達成のためのチェック作業。各課への啓発。	3,065 否	0.13		
⑦	ホームページリニューアルに向けた管理システムの更新業務	操作性や視認性の高いシステムへ移行することにより、利用者にとってより使いやすくなりやすいサイトを構築する。	平成29年9月にリース契約が満了する現行システムを、新たなシステムへリニューアルするための移行作業を行う。	12,680 可	0.50		

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	012022	事務事業名	頑張るふるさと応援事業費			
担当部・課名	広報戦略課	評価者(課長)	行富 広康	評価責任者(部長)	増本 俊彦	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900301	分野	9行政経営	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3持続可能な財政運営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)積極的な財源の確保			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民を含む国内の住民、団体	事業の目的(意図)	・自主財源の確保 ・本市の知名度をアップさせるとともに、様々な分野での人材発掘につながる。
事業の内容(手段)	・ふるさと納税制度を活用し、自主財源の確保と市のPRを行う。 ・各界で活躍する本市ゆかりの方を「周南ふるさと大志」に任命し、市の知名度アップに協力を得るとともに、助言等をまちづくりに活かす。 ・市外在住者を対象に、ふるさとサポーター「周南志民」を募集し、市のPRを行う。 ・本市出身者が集う団体に対し市政報告やPR等を行い、市政に関心を持ってもらい、協力を得る。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
頑張るふるさと応援寄附金(ふるさと納税)受入件数(個人)		個人による「頑張るふるさと応援寄附金(ふるさと納税)」の件数※2万円/人の寄付を想定	人	目標値	500.0	550.0	2,500.0
					実績値	527.0	212.0
					達成度(%)	105.4%	38.5%

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	3,581	2,800	26,893	23,143
うち一財		千円	3,581	2,800	26,893	23,143	23,143
(決算額)	直接事業費	千円	2,142	1,023		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	2,142	1,023		H30年度歳入を40,000千円と設定し、歳出予算を減額	
正職員人件費	千円	3,332	2,052				
人工数	人	0.45	0.28	0.60			
	支出コスト	千円	決) 5,474	決) 3,075			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成20年度から「ふるさと周南応援寄附金」「ふるさと大志」、平成21年度から「周南志民」制度を創設。平成26年度から1万円以上の寄付者に対し、特産品のPRを兼ね、返礼の品を送付している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 「ふるさと周南応援寄附金」を広めるツールが市公式ホームページとパンフレットしかなく周知の機会も限られていたため、寄付件数が伸びにくい状況であった。
	評価	C	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない理由 平成28年度の市HPからの検索方法が「周南市 ふるさと納税」と検索しない限りアクセスが出来ないなど、全国や出身者へのPRとしては不便な状況があった。また、返礼品(特産品)のPR不足も寄附件数減に繋がったものと考えられる。
	事務事業の方向性	平成29年度はインターネットを活用したふるさと納税業務を請け負う業者との委託契約を行い、総務大臣通知を遵守しながら、より広く周南市の特産品等のPRおよびふるさと納税を周知させていく。	評価責任者コメント	全国的に過熱する返礼品競争が問題視されているが、本市は趣旨に沿った取り組みを進めている。平成28年度は目標を達成することができなかったことから、その原因を分析し、取り組みの大幅な見直しが必要である。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
ふるさと納税代行事業者が実施するイベントへ出展するなど、財源確保を目的に更なる寄附者の開拓を行う。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	ふるさと周南応援寄附金	ふるさと納税制度を活用し、自主財源の確保に努める。また返礼品として周南ブランドを送り、積極的なシティプロモーションに繋げる	平成29年度中に、ふるさと周南応援寄附金等について、寄附情報等の取りまとめや、シティプロモーションを目的とした返礼品の拡充・配送業務などを専門業者へ委託する。	26,893 可	0.50		
②	周南ふるさと大志	各界で活躍する本市ゆかりの大志の協力により、本市の知名度の向上を図るとともに、意見交換等を実施し、将来のまちづくりに繋げる。	本市の市政情報などをメール・電話で情報提供を行うとともに、広報紙の送付や特製名刺を提供する。	0 否	0.10		
③							
④							